



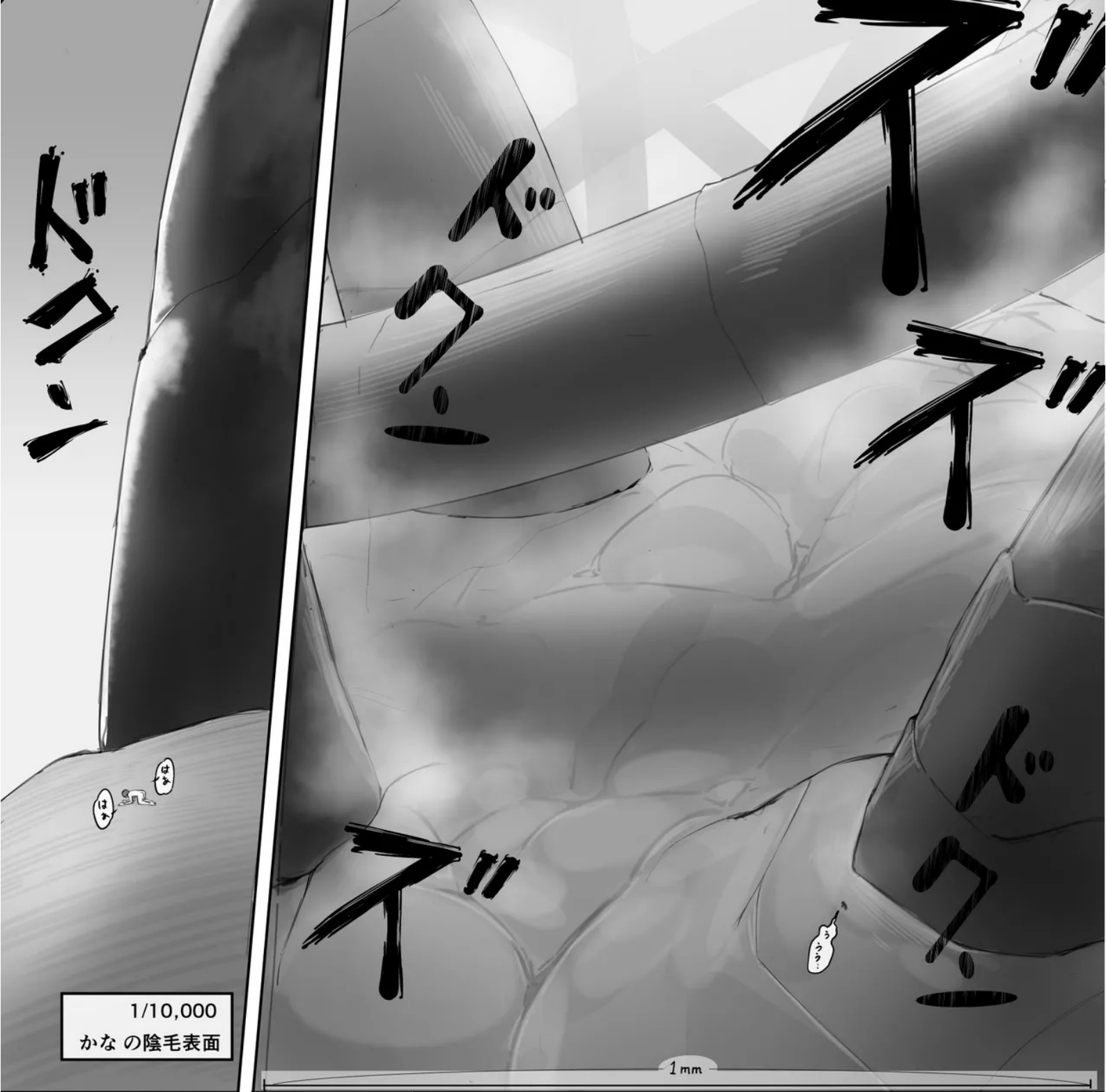
午前2時
かなの部屋

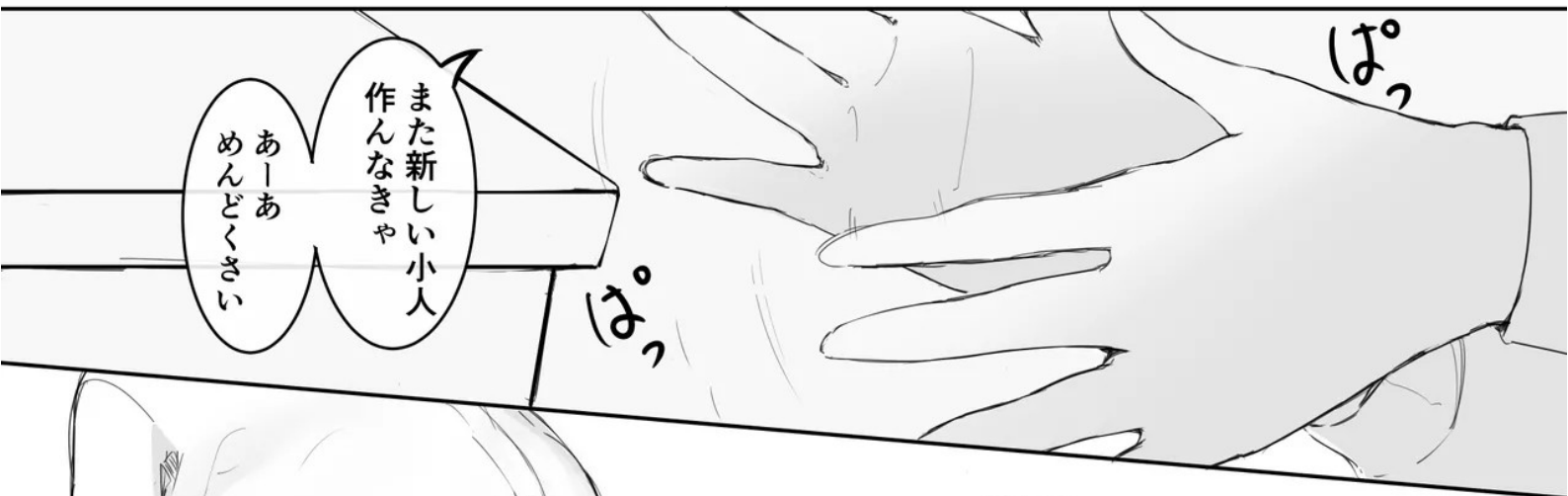


かなと
その体の表面に住む
もう一人

※服の中







激しく揺れるそれに
振り落とされないよう
繊維の奥へ奥へともぐっていくと
今居る陰毛へたどり着いた



そうして落とされた俺は
途中何かにしがみついて
床まで落ちずにすんだ
それがスカートの繊維だと知るのは
後になってのこと

今の生活を
説明すると

すー
すー

昼間は毛穴の間に隠れて
激しい揺れに必死に耐え
夜この子が寝静まった頃に
俺は動き出して食べ物を
探す

活動期の時、
俺は毎日この子に
近づいて、その
皮膚の表面を
舐め回して、
食べ物を
探す。

「食べ物」といっても食べるのは
この子の古くなってボロボロに
なった肌などの老廃物や分泌液

この子は風呂に入った
後に就寝するので
きれいに洗われた肌の
表面に老廃物は無く
肛門付近の比較的
洗い残しが多い箇所を
見つけて食べている

味なんてしない物は
まだマシでほとんどが
腐乱した生ゴミのような味がする

「オシッコ」
「ウンコ」

クン...

クン...

ドクン

なんだ!?

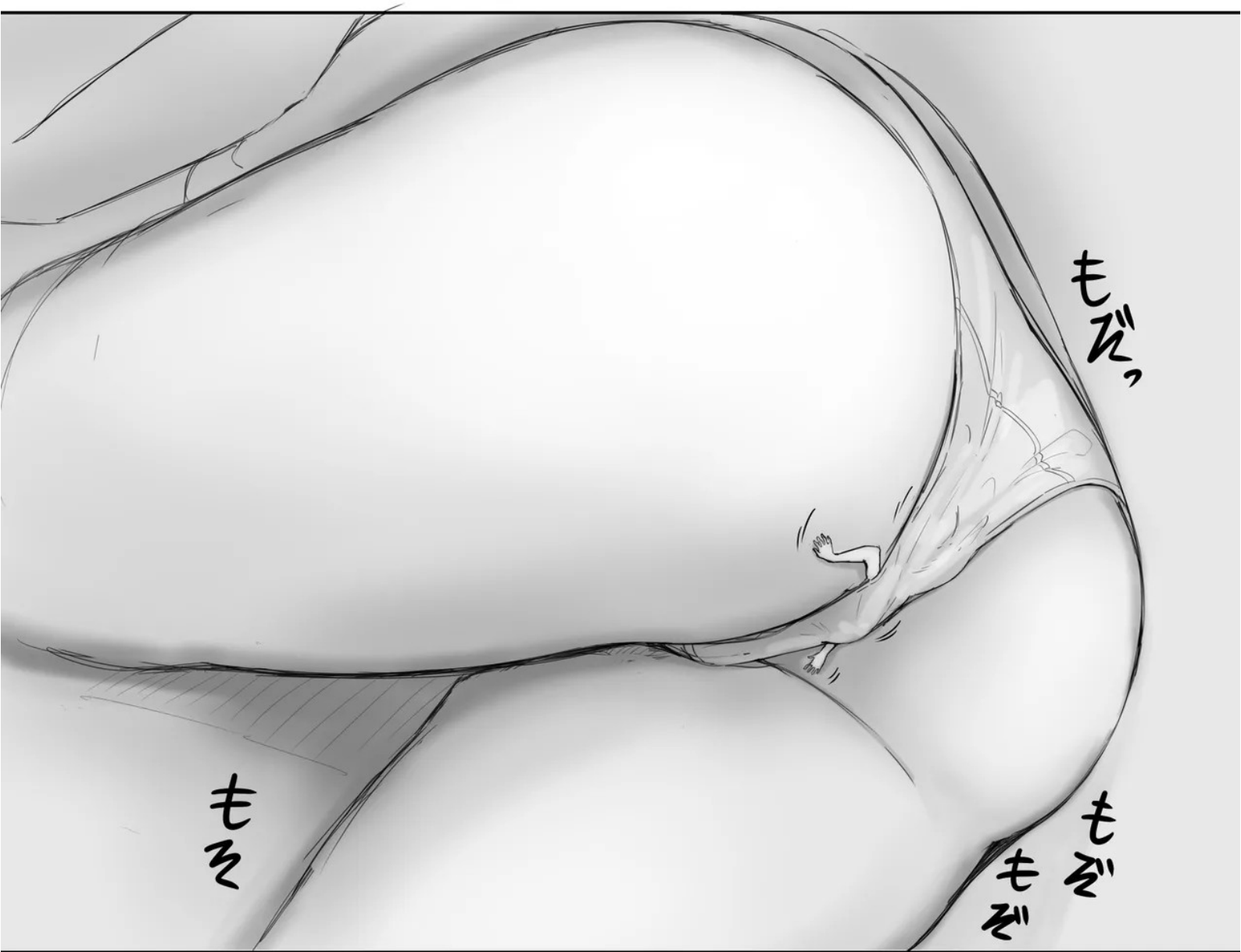
体が熱い...!

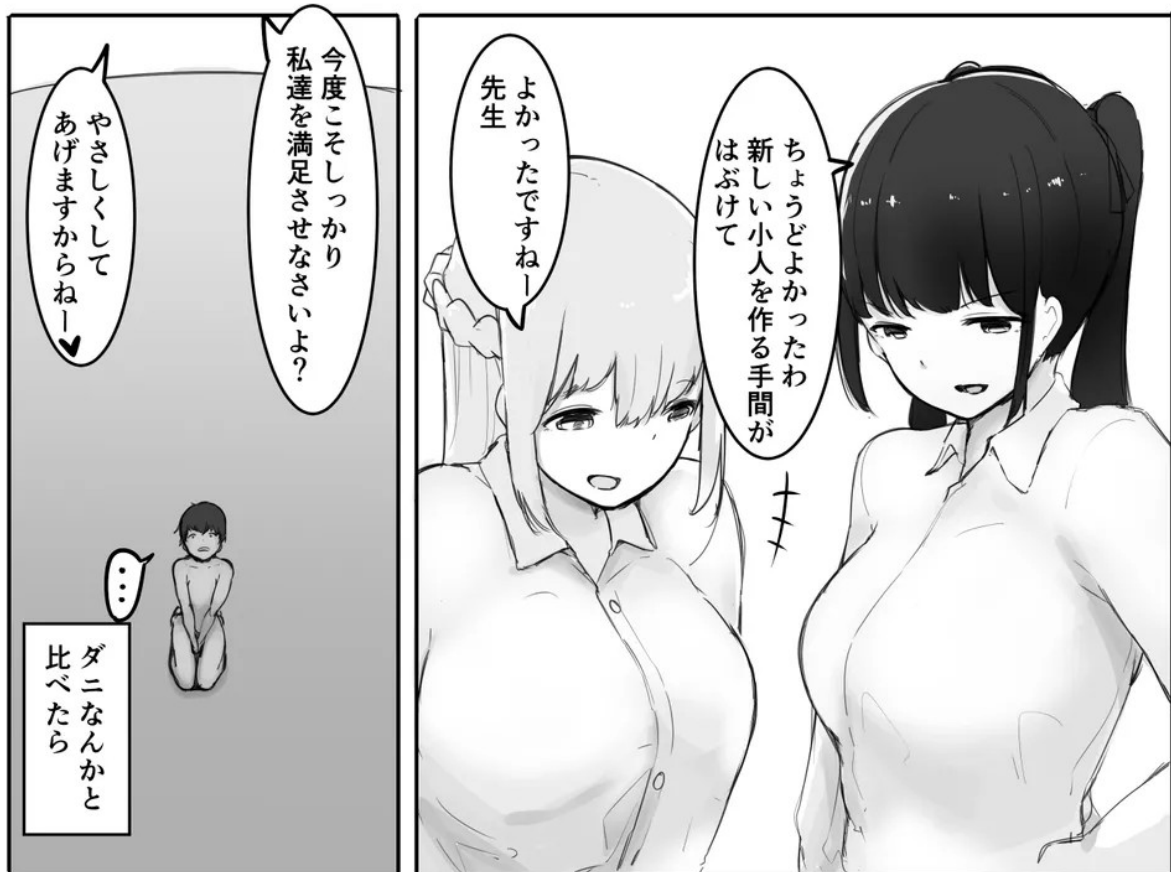
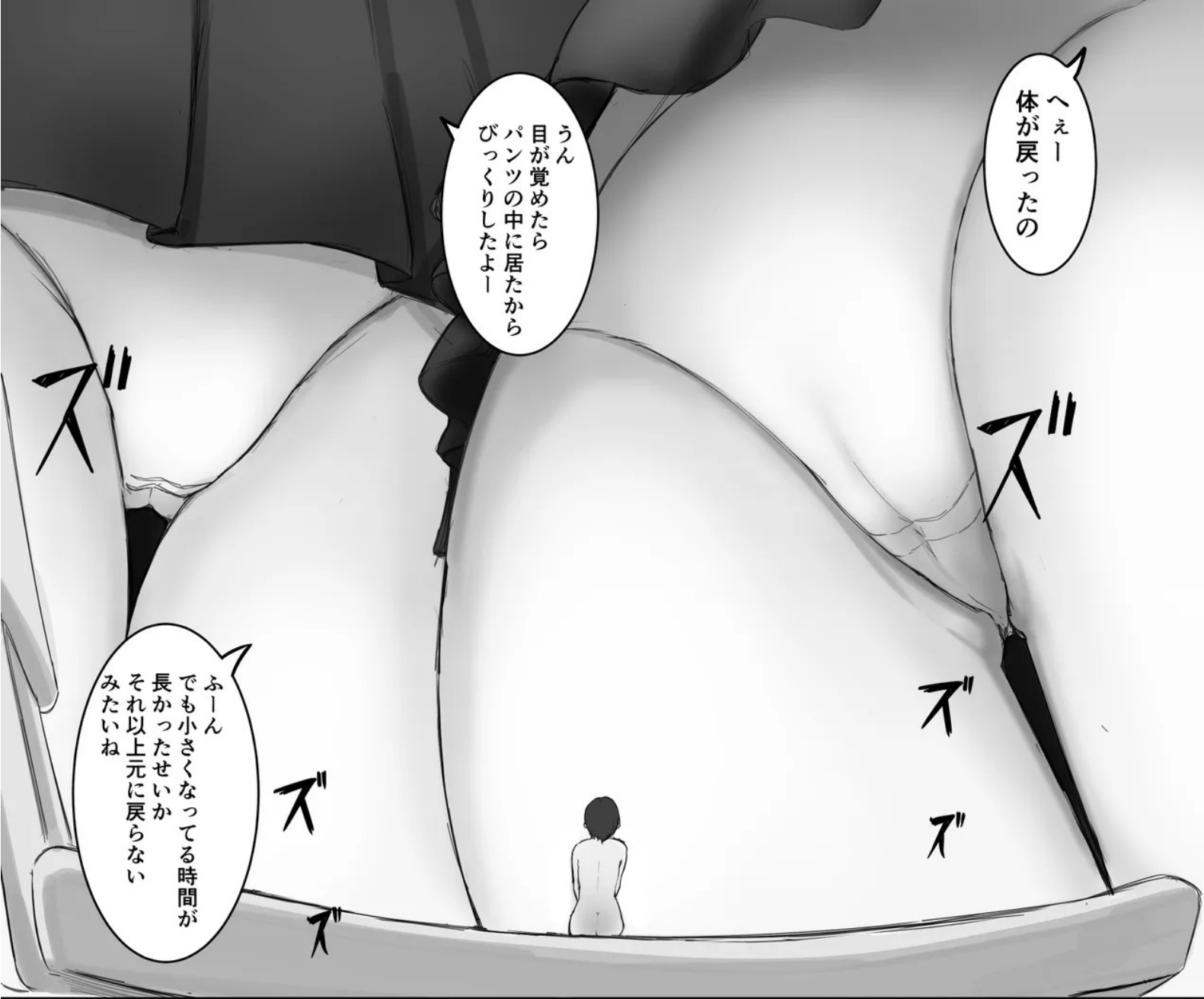
クン...

これは...

もしかして...!

クン...





この子たちの
おもちゃとして
生きる方が
よっぽど幸せだと
思う